

令和2年度モニタリングの重点テーマについて

令和2年度のモニタリングを実施していただくにあたり、重視すべきテーマと選んだ理由について、ご提出いただきましたご意見を取りまとめました。第2回運営評価委員会におきましては、これに基づき、重点テーマの検討を行います。

●基幹業務（カウンターサービス、レファレンスサービス等）

- ・今年度は、新型コロナの影響で通常業務が大きく影響を受けている。今後も一定期間継続する可能性もあり、また、似たような事態が新たに発生する可能性もあるため、今回の影響や対応をまとめ今後の運営に生かせるようにすることが必要と考える。
- ・利用者の満足度が図書館の存在意義の最重要ポイントだと思うため。

●ITを活用した図書館サービス

- ・コロナ対策としてITの活用が必須であると思うため。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策のため、ITを活用した非来館型図書館サービスの重要性が高まっているため。

●子どもの読書活動推進

- ・現在、家庭教育は危機に瀕していると聞く。この状況において地域の図書館は子どもの読書活動推進を図るべき立場にあらう。何故ならそれが家庭教育にとって重要な役割があるからだ。
- ・子どもの読書習慣は大切であるが、そこにこそ二極化があると考える。図書館利用の有無、回数につき、アンケートを小・中学生対象に実施し、対応を検討してはどうか。

●ボランティアとの協働

- ・ボランティアは無償の労働力ではなく、図書館ファン、コアな理解者として存在価値を高めていただける。そのためにボランティアからの改善提案を集約し意見を反映するなどアプローチを検討すればどうか。

●疑問

図書館の運営状況を評価することが我ら委員の仕事であらう。評価項目は経営目標に基づいているのであるなら、何故委員全員の統一項目を設定する必要があるのだろうか。